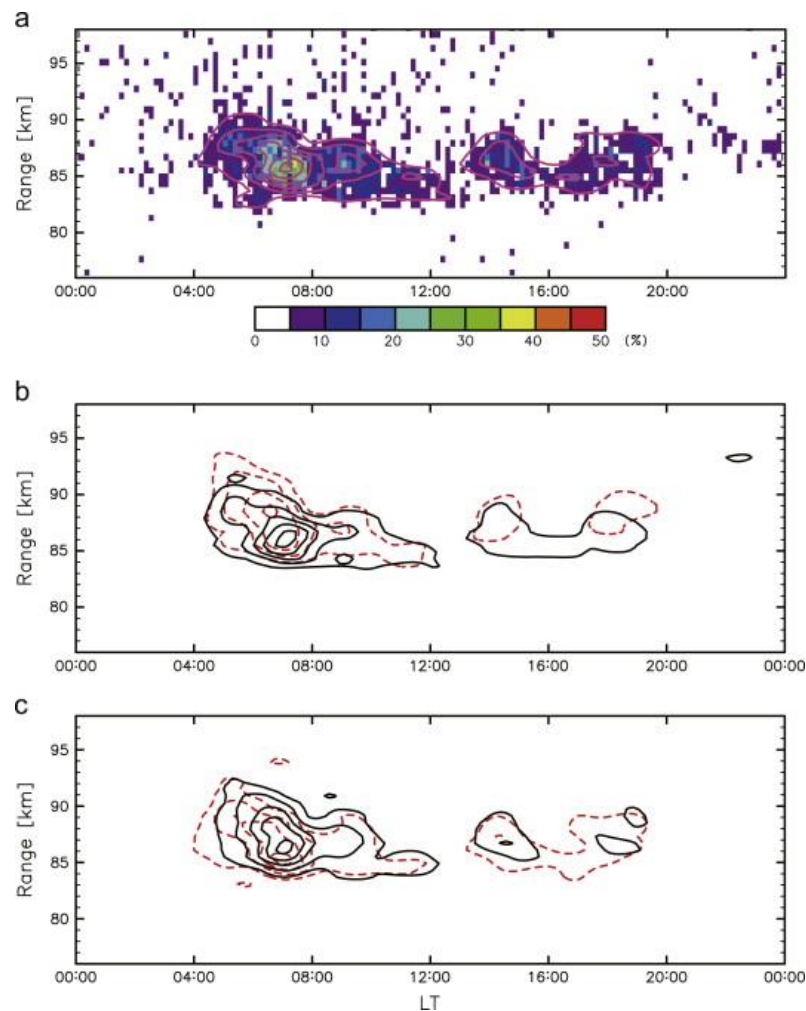




PANSYレーダーによるPMSE観測例

- 2012年1～2月にPANSYレーダー1/55システム(19アンテナ)を用いてPMSE (Polar Mesosphere Summer Echo) 観測を実施した。
- PMSE出現頻度の最大高度は約85kmであり、時刻は07:00LT頃と14:00-18:00LTの2度極大となる(右図a)。07:00LTのほうが頻度が高い。
- 出現頻度・高度にビーム方向依存性が見られる(右図b,c)。これは平均的にPMSEの層の傾きがあることを示唆している。

(Sato et al., J. Atmos. Solar-Terr. Phys., 118A, 2-15, 2014.)



PANSYで2012年1-2月に観測されたPMSE発生頻度の地方時・高度断面図。(a) 鉛直、(b) 南向き(破線)、北向き(実線)、(c) 西向き(破線)、東向き(実線)ビーム。等値線は6%から4%間隔。